

第90回日本細菌学会総会 シンポジウム企画の公募について

第90回日本細菌学会総会のシンポジウムの企画提案（計6企画）を以下の要領で公募いたします。

既に決定している企画（資料1）との重複に配慮の上、奮ってご応募ください。

公募企画の種類

シンポジウム：依頼講演からなる**1テーマ2～3時間**の企画を募集いたします。

今回は、企画調整員会が一般演題から選抜した演者に講演いただくワークショップを、毎日2-3時間設ける予定にしております。このため、公募企画については、全てを依頼演題で構成するシンポジウム形式（依頼演題型）に限らせていただきます。予めご了承ください。

* **非会員演者について**：シンポジウム・ワークショップで非会員の方に講演依頼をした場合に伴う費用（学会参加費・旅費・滞在費）は1企画につき1名は、学会から補助いたします。ただし、1テーマ当たりの非会員演者数が多数になる場合は、コンビーナの方に一部の負担をお願いする可能性があることをご理解ください。

企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビーナ（提案者）にお知らせいたします。採択された企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、調整が必要な場合は総会長もしくはシンポジウム企画調整委員のいずれかからご連絡いたします。

応募方法

下記事項をご記入のうえ、日本細菌学会事務局までE-mail (gakkai23@kokuhoken.or.jp)にてご提案ください。

- 1) テーマタイトルと研究領域区分・キーワード（資料2参照のこと）
- 2) コンビーナの氏名・学会員番号・所属・連絡先
- 3) 概要（400字以内）
- 4) 想定演者（案）の氏名・所属（一般公募型は不要）
- 5) 想定聴衆数（会場の都合により、ご希望の部屋とはならない可能性がございますが、ご了承下さい。）
- 6) 応募される内容については資料1, 2を参考にして下さい。

提案締切 10月7日（金）

資料 1

企画 番号	開催様式 I: 国際シンポジウム S: シンポジウム W: ワークショップ	タイトル	候補コンビナー 氏名 (所属)
		基礎	
1	IS or S	最近の細菌線毛研究 (新学術領域「運動超分子」共催)	宮田真人 (大阪市大), 中山浩次 (長崎大)
2	S or W	細菌の究極進化形態、共生オルガネラ (日本共生・寄生学会(仮)連携)	永宗喜三郎(感染研)、永井宏樹(阪大微研)
		生態学	
3	W	しなやかな微生物たちから醸成されてきた新生命観	大屋賢司 (岐阜大)
4	S or W	空飛ぶ微生物学	丸山史人 (京大医)
5	S	微生物生態学会共催「Sleeping Microbes: 眠れる微生物の秘めた力」	玉木秀幸 (産総研) および 春田伸 (首都大学東京)
		Microbiota	
6	W	菌叢と微生物伝播/ Microbiota and microbe transfer	森川正章(北大)、山口博之(北大)
		Pathogenesis	
7		総会長企画 1 特別講演	
8		総会長企画 2 インフラマソーム	
9		総会長企画 3 生体防御学会関連	
10		総会長企画 4 酸化ストレスと細菌感染	
11		総会長企画 5 特別講演	
12		総会長企画 6 市民講座	
13	S or W	細菌学から見つめなおす抗酸菌属の魅力 (仮題)	和田崇之 (長崎熱研) (仮) 結核研究所から 1名
14	W	動物の病原細菌: イレギュラーな集団が見つかる瞬間	楠本正博 (農研機構動物衛生研究部門 細菌・寄生虫研究領域)
15	W	嫌気性病原細菌のup-to-date	桑原知巳 (香川大学医学部分子微生物学)
		臨床細菌	
16	S	日本臨床微生物学会との共催: 耐性菌検査に関する問題点と今後の展望 (仮題)	飯沼由詞 (金沢医大)、柴山恵吾 (国立感染研)
17	S	日本化学療法学会との共催: 抗菌薬開発の問題点と将来展望	平井敬二 (キョーリン製薬)、賀来満夫 (東北大学)
		Methodology	
18	S or W	ミクロな微生物社会を掴む新技術	野村暢彦 (筑波大学)、美野さやか (北海道大学)
		疫学・衛生学	
19	W	事例に学ぶ細菌学	齋藤志保子 (秋田県健康環境センター)
20	W	積極的疫学調査と細菌学との接点	中島一敏 (大東文化大学 スポーツ・健康科学部) 大西真 (国立感染症研究所)
21	S or W	感染症とバイオテロリズム	森川 茂 (国立感染研)、飯田哲也 (阪大微研)
22	S or W	薬剤耐性菌について	山本容正 (大阪府公衛研)、山崎伸二 (大阪府大)
23		ダニ媒介性細菌感染症の予防・診断・治療のための総合的研究 (AMED 新興再興連携)	安藤秀二 (国立感染症研究所ウイルス第1部)
		その他	
24	S or W	計算感染症学	中岡慎治 (東京大学生産技術研究所)
25		若手コロッセウム企画 (めざせ! 細菌学の★、を名称変更)	
26		細菌学者の人生 ~ワーク・ライフ・バランスの中の葛藤~	黒木香澄 (東京大学)、北条史 (杏林大学)、野中里佐 (獨協医科大学)
27	W	一般演題から取り上げたワークショップ	毎日2-3時間、一般演題から選抜し口演発表いただく予定
28	W	一般演題から取り上げたワークショップ	毎日2-3時間、一般演題から選抜し口演発表いただく予定
29	W	一般演題から取り上げたワークショップ	毎日2-3時間、一般演題から選抜し口演発表いただく予定

		公募演題	
30			
31			
32			
33			
34			
35			

資料2 研究領域区分

研究領域	キーワード	
1 分類	a. 遺伝子・分子系統解析 b. 菌体成分・抗原性	c. 鑑別法 d. その他
2 生態	a. 生態 b. 細菌叢 c. 環境細菌	d. 生育環境・培養条件 e. その他
3 形態と菌体成分構造	a. 形態 b. タンパク質 c. 脂質・糖脂質	d. ペプチドグリカン e. 細胞骨格 f. その他
4 生理	a. 代謝・生合成 b. 運動 c. 菌体内情報伝達 d. 菌細胞間情報伝達	e. 分泌と輸送 f. 溶菌 g. 生理活性物質 h. その他
5 病原因子と病態	a. 接着因子・定着因子 b. 細菌毒素・エフェクター c. 抗原性物質 d. その他の病原因子 e. 細胞内侵入	f. 細胞内寄生 g. 感染モデル・病原性評価 h. 病原性変異体・病原遺伝子 i. その他
6 遺伝子	バイオインフォマティクス a. ス b. 遺伝子伝播 c. 遺伝子の構造と発現	d. 遺伝子機能 e. 遺伝子組み換え・解析技術 f. その他
7 抗菌性物質	a. 抗菌性物質 b. 薬剤耐性機序	c. 薬剤耐性遺伝子 d. その他
8 免疫・生体防御	a. 自然免疫 b. 適応免疫 c. 免疫回避・免疫傷害・共生	d. ワクチン e. その他
9 感染症	a. 臨床微生物の分離・性状 b. 検出・同定・診断の技術	c. 疫学・分子疫学 d. その他
10 真菌・放線菌		
11 その他		